

おばあちゃんのちえ

6年1組は家庭科の授業でした。暑さ対策の仕方について意見を出し合っていました。

扇風機にガムテープで保冷剤を貼り付けて扇風機にあたるということをおばあちゃんに教えてもらったという子どももいました。『そんなんあたりまえやん。』っておばあちゃんは心の中で思っているかもね」と先生が言いました。「保冷剤なんて、若いおばあちゃんやなあ。」と私は思いました。

打ち水をした子どもは18人。そのうち、確かに涼しいと感じた子どもは3人でした。打ち水という事を知っていて、実際やった子どもが意外と多いもんだなあと思いました。でも、それが涼しいと感じた子どもがたった3人。そんなもんなんでしょうか。あまりに暑くて打ち水では追いつかないのかな？打ち水をする場所がないのかな？そんな文化がどんどんなくなっているんだろうな。いろいろ考えさせられました。おばあちゃんに聞いてみるといろいろ教えてくれそうですね。

紺のシャツと白のシャツでは、白い方が涼しいという話も出ました。でも野球少年たちの中には紺のTシャツを着ている子どもが多かったようです。先生が「暑くはないの？」とたずねると「ぜんぜん。」という回答でした。日頃からしっかり鍛えているからでしょうね。

これには、おばあちゃんはなんと答えてくれるのでしょうかね。

いろんなことがわかってよかったね

6年2組の女の子が数人、校長室へやってきました。昨日、私が教室に行った時、「鎖国の時代、ポルトガルの宗教はなんだったか調べてきなさい。」などと宿題を出したのですが、それをきちんと調べて私のところへ報告に来てくれたのでした。話を聞くなかで、オランダとポルトガルを間違えて言ってしまったという事に気がつきました。そこで、私のパソコンでインターネットにつなぎ、いっしょに閲覧しました。

「いろんなことがわかってよかったね。」で終わるところでしたが、ある女の子が「校長先生、おせんべいが好きなんですか？」と聞くのです。「えっ？」と思ってあたりを見回すと机の横におせんべいが置いてあったのです。しまった！！私の秘密を握られてしまいました。

あとで教室に行って、インターネットで調べたことや私の秘密についても話しました。子どもたちがニヤニヤしていました。悔しいけど、本当に「いろんなことがわかってよかったね。」

J・T・S ～ジュニアティーチャーシップ～ の1

先日、武庫之荘総合高校の3年生が5年生と6年生のクラスにやって来ました。ジュニアティーチャーシップと言って、将来、学校の先生になってみようかなと思う高校生がプチ実習に来たのです。

5年1組は、英語の授業でした。ゲームのなかで楽しく英語に親しむとといった授業でした。アルファベットが1文字だけ書かれた何枚かのカードのセットを渡された子どもたち。並べ替えて一つの単語をつくるのです。小学校の外国語活動は、まず、英語に慣れること、英語への抵抗感をなくすことが重要だと考えていますので、書くことは基本的には経験していません。従って、スペルも知らないはずですが、子どもたちはすごいです。ああでもない、こうでもないで大奮闘。「NOTE」「BOOK」なんてスイスイ。「PENCIL」はちょっと苦勞しましたがクリア。どう発音するかとたずねられると元気よく「ペンソー！」。高等学校の先生が「うちの子より発音がいいですね。」とおどろいておられました。うれしかったです。